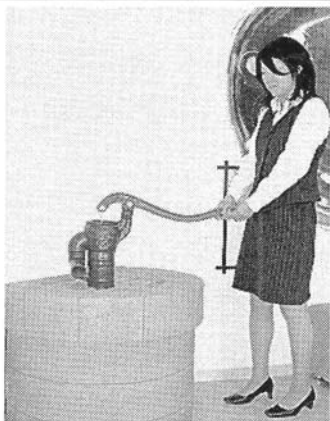


伏見で井戸付き

マンション建設

ゼロ・コーポ

不動産業のゼロ・コーポレーション（京都市北区）は、酒どころで知られる伏見区で井戸が付いた分譲マンションを建設している。建物内の共有部分で利用でき、災害時に使える井戸としても登録する予定で分譲マンションの新たな付加価値として話題を呼びそうだ。



エントランスホールに設置
予定の井戸のポンプ（京都市伏見区のモデルルーム）

伏見区景勝町に新築する「ルーシア伏見」は、七階建て（四十戸）のマンションで十二月に完成予定。敷地内に井戸を掘り、約六十メートルの深

さから井戸水をくみ上げる。水は基準値よりもややマンガンの含有量が高いため、洗車場やペットの足洗い場、植栽の散水用などの共用部分に使用

を限定する。

井戸は、市の災害時協力井戸として登録予定で、災害時に水道が止まった場合でも地元の防災井戸として利用が可能。玄関のエントランスホールにはくみ上げポンプも設ける。

価格は二千五百八十万—三千五百万円。同社は「伏見といえば水。地域に根ざすマンションとして選んでもらえば」（モデルルーム）と話している。